

ムーミンの原点

# トーヴェ・ヤンソンと ガルムの世界

トーヴェ・ヤンソンが若い頃、母親と共に  
フィンランドのスウェーデン語政治風刺雑誌  
“Garm(ガルム)”  
に展開した知的で痛快な挿絵の世界。  
その全容と時代的背景について  
ムーミンの翻訳、研究でも知られる  
富原先生が語ります。

主催：いずみ会  
[上智大学旧明泉寮OG会]

聖心女子大学教授

## 富原真弓氏 チャリティ講演会

2017

10.1日

申込み締め切り

2017.8.20日

[定員200名様]

● 時間 14:00~15:30 / 開場 13:30

● 入場 無料 [チャリティにご協力ください]

寄付金および特別提供の本の売上金は、富原氏のご厚意により、  
全てインドスポンサーシップ(※裏面をご参照ください)に寄付させていただきます。

● 会場 聖イグナチオ教会 ヨセフホール [四ッ谷]

JR中央線(麴町出口)/東京メトロ丸の内線・南北線(赤坂出口)四ッ谷駅下車(徒歩1分 上智大学手前)  
※駐車場はありません

● 申込み・お問い合わせ [izumievent2017@gmail.com](mailto:izumievent2017@gmail.com)

# 講演内容

フランス哲学の研究者として知られる聖心女子大学教授の富原真弓さんは、ムーミンの作者であるトーヴェ・ヤンソンの翻訳者・研究者としても活躍されています。講演や執筆に多忙を極めておられますが、今秋、いずみ会主催の講演会にご協力いただくことになりました。

画家としてのトーヴェ・ヤンソンは、挿絵画家であった母親のシグネ・ハンマルステン＝ヤンソンから大きな影響を受けました。政治諷刺のセンスやユーモアもシグネから受けついで分野です。本講演のタイトルでもある著書『トーヴェ・ヤンソンとガルムの世界』(2009年、青土社)は、トーヴェ・ヤンソンがフィンランドのスウェーデン語系の政治諷刺雑誌『ガルム』に描き続けた挿絵や表紙絵を使い、当時のフィンランドとりわけスウェーデン語系の少数派を取り巻く政治・社会情勢について説明しつつ、どのような政治的・文化的風土のなかからムーミンが生まれたかを語ります。

皆様が若い、あるいは幼い日に親しんだムーミンの世界の見え方が違って来るかもしれません。

## 富原真弓氏プロフィール

聖心女子大学哲学科教授

1954年、兵庫県生まれ

上智大学外国語学部英語学科卒業後、大学院でフランス文学専攻

フランス政府給費留学生としてソルボンヌ大学で哲学博士号取得

1998年、「トーベ・ヤンソン・コレクション」(全8巻)で日本翻訳家協会文化奨励賞受賞

## トーヴェ・ヤンソンとの出会い

1989年、北欧に旅行中、ストックホルムの書店に並ぶムーミン物語やトーヴェ・ヤンソンの研究書に眼がとまり、初めてその文学世界に触れ、魅了された。スウェーデン語を独学し始めて2年後、当時、邦訳がなかったおとな向け小説の翻訳を決意。ヤンソン本人に手紙を書いたことがきっかけとなり、ヤンソンが亡くなるまで10年ほど交流を続けた。

著書に、『ムーミンを読む』『ムーミン谷のひみつ』(ちくま文庫)、『シモーヌ・ヴェイユ』(岩波書店)等。訳書に、おとな向けの長篇・短篇(単行本10巻、文庫2巻、筑摩書房)、ヤンソン『小さなトロールと大きな洪水』(講談社)、英国の新聞連載の「ムーミン・コミックス」(全14巻、筑摩書房)他多数。この3月にヴェイユ『重力と恩寵』(岩波文庫)の訳書を刊行。

# GARM THE PEOPLE'S WATCHDOG

(English translation supervised by Mami Adachi)

講演会当日特別提供される本『トーヴェ・ヤンソンとガルムの世界』の英語版(全訳)。

児童文学やコミックスで有名な「ムーミン」の原型は、1930年代、フィンランドのスウェーデン語系の政治諷刺雑誌『ガルム』の挿絵として誕生しました。中世以来、スウェーデン、ドイツ、ロシア等の大国と折り合いをつけつつ生きてきたフィンランドの歴史が、ムーミン谷の特徴と絡めて、ムーミンたちの絵を含む380点ほどの挿絵や表紙絵を使って語られていきます。原書の日本語版(青土社、2009年)は、文芸評論家の富山太佳夫氏や作家の堀江敏幸氏に高く評価され、毎日新聞や日本経済新聞でも度々紹介されました。

本国のフィンランド、スウェーデンをはじめ欧米にも類書のないユニークな研究書として英語版出版の意義が認められ、フィンランドのスウェーデン文化協会の出版助成を得て、トーヴェ・ヤンソン生誕百年の2014年に英語版が刊行されました。本書はこの分野の必読書として学会で高く評価され、北欧および英語圏メディアでも好意的に論評されたそうです。

また、2014年にストックホルム大学で行われたヤンソン生誕百年記念の国際大会では、主催者挨拶に続く最初の講演者として『ガルム』について話をされたと聞いています。英語版は日本では通常の市販ルートに乗らない稀少な本です。

## インドスポンサーシッププログラム

私どもは明泉寮生の小さな寮祭バザーのご縁から始まった活動です。インドの子供達を援助するかたわら、教育を受けず虐げられた女性達が貧困から抜け出し、自立していけるようさまざまな援助をしている「マリアの御心会」の現地のシスター達を直接支援しています。ボランティアスタッフがスポンサー皆様からの寄金をインドの四つの活動拠点に送金、あちらから送られてくる活動報告を年2回のニュースレターにしてスポンサーにお届けしております。

皆様のご支援をお願い申し上げます。